

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	公園等放射能対策事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	08	04	07	05
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	みどりの課			
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		主管課長	天川 一典			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公園緑地	意図	放射線量の低減を図り、市民が安心して利用できる空間を確保する。
事業内容	市内の公園等に関して、放射線量の高い広場部分等の低減策を実施した。なお、放射線のモニタリングは環境部門で実施、線量測定機器の保守点検を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	除染作業は平成24年度に終了した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	モニタリング調査異常箇所	0	0	0		↓↓↓	放射線量が基準を超えた箇所
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 放射線量の測定は、環境政策・放射能対策課で実施している。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		739,600	801,600	735,100				
事業費(b)(円)		48,600	48,600	48,600				
うち一般財源		48,600	48,600	48,600				
職員給与費(c)(円)		691,000	753,000	686,500				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	VI 縮小（改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	放射線量の測定は実施するが、基準を上回ることがないことから、各公園に設置してある放射線量看板を撤去し、ホームページでの周知だけに移行していく。	③取組の課題	各公園の放射線量が、基準を超えない状況から、公園内に表示することが必要か検討の時期である。
②今年度(H28)に実施した取組	放射線量の測定は、環境政策・放射能対策課で実施し、異常値が測定されていない旨を公園に表示した。	④今後の改善計画	放射線量の測定は実施するが、基準を上回ることがないことから、各公園に設置してある放射線量看板を撤去し、ホームページでの周知だけに移行していく。